

建築研究所ニュース



令和5年12月26日

核軍縮推進及び地震防災のための国際貢献として、6カ国9名の研究者や担当官を対象としたグローバル地震観測研修を開講します。

国立研究開発法人建築研究所では、国際地震工学研修の一環として「グローバル地震観測研修」を令和6(2024)年1月9日から3月1日まで実施します。参加者は、コンゴ民主共和国(1)、エジプト(2)、カザフスタン(2)、ネパール(2)、タイ(1)、東ティモール(1)の6カ国(括弧内は人数)から選ばれた研究者や担当官9名です。今回は28回目の開講となり、令和6年1月9日に開講式を行います。

現在、包括的核実験禁止条約(CTBT: Comprehensive Nuclear Test Ban Treaty)発効に向けた取り組みの一つとしてCTBTの遵守を検証するための国際監視制度の整備が進められており、地震学的手法を用いた監視技術はその重要な柱の一つとなっているところです。

建築研究所国際地震工学センターは、外務省から依頼を受け、核軍縮推進及び地震防災のための国際貢献として1995年から本研修を気象庁・独立行政法人国際協力機構(JICA)と協力して実施しております。これにより核実験探知に必要な地震観測技術や核実験を識別するための地震学的なデータ解析技術を習得させ、CTBTの検証体制及び国際監視制度において重要な役割を果たせる人材を育成してきているところです。

また、本研修の実施により、地震防災にも有用である自然地震を含む地震観測技術の普及にも資することが期待されます。

<参考1:開講式の日程>

第28回グローバル地震観測研修 開講式

日時: 令和6年1月9日(火) 15:00~

場所: 国立研究開発法人建築研究所2階講堂(つくば市立原1)

<参考2:これまでの研修修了者数>

- ・グローバル地震観測研修: 78カ国から288名
- ・国際地震工学研修: 105カ国から2,018名(グローバル地震観測研修含む)

<その他研修に関する情報については、1)国際地震工学センターホームページ 2)外務省内「CTBT発効促進に向けた我が国の取り組み」のページを御参照ください>

1) <https://iisee.kenken.go.jp/jp/training/train/global/>

2) <https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/kaku/ctbt/hakkou.html>

(内容及び開講式取材の問合せ先)

国立研究開発法人 建築研究所
所属 国際地震工学センター管理室
氏名 秋葉 泰彦
電話 029-879-0678(直通)
E-mail y-akiba@kenken.go.jp.jp